

## (1) 「豊かな心の育成」推進プラン

### 中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

道徳の時間はもとより、各教科等の授業を含む様々な教育活動において、自他を大切にしている心情や態度を育てています。

### 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」にかかわる課題)

素直でやさしい性格である。地域からの協力も得られ、人との関わりをもてる。子どもたちは自分から挨拶をすることが苦手であり、自信がもてないのでコミュニケーションをとるのにやや消極的な傾向にある。

### 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して道徳教育の充実を図る。
- ・たてわり活動の充実を図り、異年齢集団活動を通して思いやりの心や協力する心を育てる。
- ・家庭や地域との連携を図り、多くの人と関わることで自尊感情を高める。

#### 指針1 「道徳の時間」の充実

- ・地域や郷土に素材を求めたもの、今日的な課題について深く考えることができるもの、学級や学校生活における具体的な事柄や葛藤などについて深く考えることができるもの等、新しい視点に立った資料の開発と活用を行う。
- ・「心のノート」を子どもが道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう活用する。

【視点2】

#### 指針2 体験活動の充実

- ・たてわり活動など異年齢活動を充実させる。「児童会活動」「クラブ活動」「たてわり活動」などの「異年齢集団活動」をより自主的・意欲的に行うようにする。
- ・小中学校での学びを見通したうえで活動の狙いを設定し校外の豊かな自然や文化に触れる「集団宿泊体験」を充実させる。

【視点3】

#### 指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・人権教育に対する組織的な取り組みを推進し、教師の人権感覚、人権意識を向上させ、人権が尊重される授業づくりを行うために校内研修の充実を図る。

【視点6】

#### 指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・読書に親しむ機会の充実をすすめ、子どもたちの表現力や想像力を高め、豊かな感性をはぐくむ。
- ・全校一斉読書タイム
- ・教職員や学校図書館ボランティアによる本の読み聞かせやブックトーク等。

【視点11】